

いい会社紹介!

東フロコーポレーション株式会社

流量計器類製造業
代表取締役 田畑 吉胤さん

住所：日野市南平4丁目3番17
TEL:042-593-8811
HP: http://www.tofco.jp/



半導体製造プロセスにおいても重要な役割をはたしている流量計測器の製造・販売の業界で一步先を行く会社さんで、現社長が約40年前に設立された東フロコーポレーションさんは今では社員数160人になるまでに規模を拡大し、鹿児島、千葉、宮城、更に中国など国内外に拠点を置き、今なお成長を続けています。

「清楚にして至誠」という会社の経営理念が製品作りから組織造りにまで浸透していてその技術力、製品力だけでなく誠実なお客さま対応で実績を伸ばされています。

どんな状況でも豪快な笑い声で社員を元気に引っ張っていく社長の元、多種多様な流量計や周辺機器を製造、販売する東フロコーポレーションさん、今後が益々楽しみな会社さんです!

他では真似できない、幅広い温度帯域を実現。

電動比例制御バルブ NEW!
FCV-M / MCV-M SERIES



有限会社 ハッピーウェディングK&K

結婚相談業
代表取締役 吉江 香奈子さん

住所：多摩市愛宕4-15-1-1
TEL:042-355-8255
HP: http://www.happy-wedding.co.jp/



インターネットの24時間検索可能なシステムを使って、ご自身でお申込みをしていただくと共に、人とのつながりを大切にしたい昔ながらの手作りのお見合が私たちの特長です。

些細なことでも気軽に話せるアットホームな雰囲気ですので、素敵な出会いがない…お付き合いをしてもなかなかうまくいかない…等々、お気軽にご相談下さい。自然な出会いを大切にするパーティー、イベントも開催しております。

考えているだけでは時間が過ぎていくばかり、思い切って行動してみる事です。出会いのきっかけこそが、結婚への第一歩!



「結婚」という言葉を頭に思い描いたとき、それぞれが思い描く「結婚」は違うものです。初めてのご相談から成婚まで、おひとり、おひとりとのコミュニケーションを大切に、お人柄や個性に合わせて成婚までのお手伝いを二人三脚でサポートしています。



自慢の社員紹介します



佐藤さん



境原さん

有限会社桑都興業の一ノ瀬美佐子と申します。現場では5人の男性社員が働いています。経理担当の私の他に会社では2名の事務員さんが交代制で出勤してくれています。

平成23年入社の際原さんは当時は18歳でこの会社に入りました。それから車の免許を取りに行ったり、高校の資格を取ったり、また成人式の日には社長がお寿司を取ってお祝いしました。入社してかれこれ5年目になります。社内での担当は領収書の整理、ブログの更新です。これからも色々なことを学びながら活躍してもらえたらと思います。



有限会社 桑都興業

舗装・土木工事業
代表取締役 一ノ瀬 隆 さん

住所：八王子市平岡町14-11
TEL:042-682-5505
HP: http://www.souto-kougyou.co.jp/

会社であつたいい話

株式会社 松成リノベーションさんは調布の事務所を拠点に東京はもちろん、神奈川、埼玉、千葉など広い範囲で活躍しているリフォーム屋さんで、自社オリジナル工法の商標を取得するなど、高い技術力と施工実績をお持ちです。リフォーム・リノベーションをご検討の皆様、ぜひ一度社長で自慢のホームページを見てみてはいかがでしょうか?

株式会社 松成リノベーション

建物改修工事業
代表取締役 佐藤 大輔 さん

住所：調布市飛田給1-16-12 メゾン菊栄1F
TEL:042-426-8662
HP: http://kaisei.biz/



塗料材料メーカーの日本ペイントさんから2年連続で最優良施工班として表彰され、それにより職人達も自分達の施工に自信を持てるようになりました。

新しい材料と最新の技術を使ってお客様の大切な建物を守るお手伝いができるように、そして今年も表彰いただけるようにスタッフ一同、日々精進しています。



所長コラム 『素直にパクル』

「時代が違うよ」…わが家の会話で、私が子供達からよく言われるセリフです。確かに、と思うことも多いのですが、時には父親の威厳を保つためにも「時代なんて関係ないっ!」と一喝することもあります。

時代が違うと言いますと、職場では昔から仕事は盗むものだと言われていました。わたしも本当にそのように思うのですが、誰もが盗んで身につけるには、今の時代は変化が早すぎます。そのため、先輩社員が「仕事は盗んで覚えろ」と言って、指導を放棄する様子を見ると、それには「時代が違うかもよ」と思ってしまう。むしろそのセリフは先輩社員の指導力のなさの表明ともれます。

経営者であるあなたや幹部社員は、きっと若き日に仕事を盗んで覚えた人も多いことでしょう。だからこそ今のポジションにいられるのだと思いませんか。しかし、それは誰もが出来ることではありません。現実にはそんな有能な社員ばかりではないのです。そして、会社にも社員が積極的に盗み覚えるのを待てるほどの余裕はありません。

黙って横目で先輩を見ながら仕事を習得していくことは、若手社員の姿勢としてはとても大切なことです。しかし、会社として早く戦力になってもらうには、先輩達が積極的にやり方を教えることが必要ですし、教育システムがあると面白いのです。

他人のアドバイスを聞き入れたり、仕事を真似たりすることは、その人が素直でなければ出来ないことです。これは若手社員だけではなく経営者にして同じことが言えます。他人の真似をすることなくオリジナリティを発揮していくことが出来たら、それが一番素晴らしいことです。しかしそれが出来る人など滅多にいません。

つまらないプライドなど捨てて素直にパクってしまう、こんな人こそ案外ものごとが上手くいってしまうのです。パクったやり方や考え方にあなたの魂を込めてしまえば、それはもうあなたのオリジナルなのです。

本当に他人の真似などしたくないというのであれば、先人たちが築いた文化も伝統も否定しなくてはなりません。それはあり得ないことです。